

平成24年7月1日発行



社協だより

第74号

■天王センター

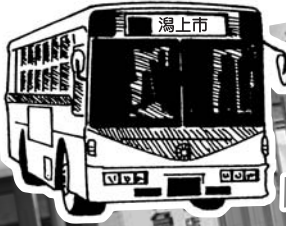
TEL (018) 878-6538
FAX (018) 878-7127

■昭和センター

TEL (018) 877-5017
FAX (018) 877-4108

■飯田川センター

TEL (018) 877-2627
FAX (018) 854-8251
有線 3028



復興支援バス

復興は
みんなの
願いです!

六月十六日(土)・三十日(土)
の両日、東日本大震災の被災地に向けて
「復興支援バス」が発発し、宮城県気仙沼市・
岩手県大船渡市の二市を中心に、総勢百四十
名もの市民の方々が参加しました。
詳細については次ページに掲載。



↑今だに放置されている
大型漁船

▷現地のガイドの説明に
熱心に聞き入る参加者
のみなさん





△買物をして地元へ活力を(いっぱい買いました)

被災地でのボランティア活動に参加したくても、様々な都合で参加できなくて歯がゆい思いをしている方もいるかもしれません。しかし、ボランティア活動だけが復興支援ではありません。被災地に赴き、被災地の状況を体感し、語り継ぐことも大事なことです。また、買い物などを通じて、被災地へ活力を届けることも意義あることです。こうした願いを込めたものが復興支援バスです。

潟上より届けよう

温かい思いやりを



六月十六日(土)の早朝、潟上市内から九十二名の方々が復興支援バスに乗り込みました。

気仙沼市に到着後、バスで被災地を視察し、現地のガイドから震災発生時から今までの経緯を説明していただきました。気仙沼漁港に仮停泊している南三陸町の漁師の方は「ここ(気仙沼)は復興の兆しが見えてきたけど、小さな町はまだ手つかずのところもある。マスクミも目立つところだけ取材しているけど、小さいところは悲惨だよ」と、語っています。

参加された方々の感想です!

「被災地の復興屋台村で『いらっしやい、見ていってちょうだい』と元氣あふれるあいさつは『私たちはここで頑張っているよ』と、言っているように伝わってきました。今度は、ゆっくりと一泊の家族旅行で、もう一度、大船渡へ来てみたいです」

「数年前にここに訪れた時は、海が近くて、きれいな町だった。それが一瞬にして変わり、震災の恐ろしさをこの地に立って実感しました。家に帰ったら、地震の時の避難経路の確認を家族と一緒に話し合いたいと思います」

「ガレキが取り除かれたから、復興が進んでいると勘違いしていました。元のように町を作り直すことは、物の復興。その地に暮らす方々の心の傷が癒えるのは、心の復興。被災地の完全な復興は、何十年も先の事だと気付かされました」

した。参加者のみなさんは一様に真剣な表情で「テレビで被災地の状況は知っているつもりだったが、実際に被災地に来なければ、分からないことだらけだった。回復がこんなにも遅れているとは、知らなかった。これから被災地の支援を何らかの形で続けていきたい」と、感想を述べていました。

復興までには、まだまだ長い年月がかかりそうです。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。



被災地の様子

△美しい気仙沼港。しかしこの岬の裏側に回ると悲惨な震災の風景が



平成二十三年度

事業報告

平成二十三年度潟上市社会福祉協議会事業並びに決算については、五月二十五日開催の理事会、並びに評議員会において承認されました。

◆事業の概要

昨今の社会情勢は、依然として厳しい状況にありますが、平成二十三年度潟上市社会福祉事業は、市民の要望にこたえるべく地域開催を行うなど、社協事業の周知を図るよう努めてまいりました。

昨年度は市民の要望にこたえ、福祉座談会・高齢者ふれあいサロン等の地域開催を行い、多くの方々が参加いたしました。健康管理はもちろんのこと、福祉の防災体制のあり方についても意見を交換しております。

福祉座談会では、昨年の「東日本大震災」を教訓に、「自分たちの地域は、自分たちで守る」ことを基本理念に、防災知識の普及に努めるとともに、要援護者の方々の安心と安全を守ることを重点事項として話し



▷屋根の雪下ろし研修会



△訪問入浴で元気に、そして清潔に

合いを進めてまいりました。また、今冬の豪雪は市民に大きな影響を与えました。ボランティアセンターにおいても豪雪に対処し、行政・各関係機関との連携を図り、屋根の雪下ろしについての研修を行っております。

『天災は忘れた頃にやってくる』と、言われてきました。今はどうでしょう。いつ、どこで起きるか分かりません。

社協では、防災に対する意識の啓蒙を図るとともに、災害時の初動体制が大変重要と考え、よりきめ細かいネットワークの組織体制の強化を図ることに努めてまいります。

シルバー人材センターは、受注作業も平年並みに推移しましたが、豪雪に伴い、除雪依頼が殺到し、受注に対応しきれませんでした。これは、除雪を請け負う会員が少ないため、対応できなかったもので、新たな会員加入の促進が急務となっています。介護保険事業は、在宅サービスを受けられている方々の入院や死亡等に伴い、業績が低下していますが、今後とも経費の削減とPR強化に努め、事業の充実を図ってまいります。



▷楽しかったふれあい交流会

見守りネットワークについて

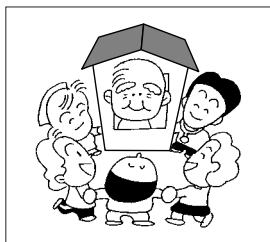
今日の社会情勢は、少子高齢化や核家族化の進行に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯、そして身障者世帯が年々増えてきております。

これらに起因して、一人暮らし老人の孤独死や、高齢者世帯の介護に伴う共倒れなどの暗いニュースが連日のように報道されています。

社会福祉協議会では、このような情勢に対処してネットワーク活動を重視し「住民参加による支え合いの地域づくり」をそれぞれの地域の民生委員の方々や自治会長、そして地域の福祉員のみなさんの協力を得て、声かけ運動や見守り活動の推進を図っています。

見守り安心ネットワークの推進

「支え合う地域福祉」をスローガンに、地域のみなさんが声を掛け合って、安心な地域づくり、まちづくりにご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは、各地域の民生委員もしくは各センターにお問い合わせ下さい。



弁護士による無料法律相談

金銭トラブルや相続・境界問題などの事案について、専門家の先生が相談に応じます。

とき 平成二十四年七月二十六日(木) 十三時三十分～

ところ 天王福祉センター

対象者 潟上市在住の方

定員 先着順四名(定員になり次第、締め切ります)

担当者 秋田弁護士会所属弁護士 富田 大先生

申し込み・問い合わせ

潟上市社会福祉協議会

天王センター TEL 878-6538

昭和センター TEL 877-5017

飯田川センター TEL 877-2627



心配ごと相談所

受付時間 10:00～15:00

月 天王センター TEL 878-6538

水 昭和センター TEL 877-5017

金 飯田川センター TEL 877-2627

どこでも相談を受け付けています

行事予定 (7月1日～8月31日)

7月

26日(木) 無料法律相談

27日(金) ボランティア

30日(月) ボランティア(天王南)

31日(火) スクール(天王中)

ひとにやさしいまちづくり探検隊(一)

8月

3日(金) ひとにやさしいまちづくり探検隊(二)

5日(日) ボランティア

スクール(羽城中)

お知らせ

昭和シルバー人材センターの電話番号が新たに設けられました。

新しい電話番号は、874-7165です。



善意

ありがとうございます

6月7日までの受付



【香典返し】

天王(羽立)菅安田幸悦様

昭和(駅前)谷原禮彦様

(天神下)横田勝昌様

(野村)安田博昌様

(高田)菊田博昌様

(飯浜上)山平眞一郎様

飯田川(高野)菊田博昌様

(飯浜上)山平眞一郎様

天王(追分)熊谷多雅治様

(上江川)鈴木与三郎様

(追分)宮上杉忠明様

(追分)宮上杉忠明様

編集後記



復興支援バスは、たくさんの方からご参加いただき、おかげさまで大盛況となりました。申し込み開始から数日で定員に達したため、急遽二回目の運行を計画いたしました。それでも人数の都合のため、申し込みをお断りせざるを得なかったことをお詫び申し上げます。

さて、今年も潟上市社会福祉協議会の会員・会費をお願いする時期となりました。社会福祉協議会の活動は、市民のみなさまの会費で運営されています。活動の趣旨にご理解をいただき、社会福祉協議会会費納入のご協力をお願い申し上げます。

㊦